

2026 年9月 4 日

報道機関 各位

(岐阜県政記者クラブ、名古屋教育記者会)

東海地方の学生がゼロから製作した飛行ロボット No.1 決定戦 - 『東海クライマックスシリーズ 2026』開催 -

岐阜大学と名古屋大学が連携して活動する航空宇宙生産技術開発センター※¹ は、岐阜県山県市総合体育館において、学生が企画・設計・製作した飛行ロボット(自律滑空機)の東海 No.1 を決定する対抗戦「東海クライマックスシリーズ」を開催します。

本大会は、「航空宇宙設計・生産融合人材育成プログラム※²」の一環として実施するもので、岐阜大学および名古屋大学の授業で製作された機体の中から選抜された学生チームが出場します。

今年度は、昨年度に引き続き中日本航空専門学校が参加するほか、新たに岐阜工業高等専門学校が加わり、各校の学生チームが、機体設計力、飛行性能、ものづくり技術を競います。

本大会では、学生が製作した飛行ロボットの飛行距離や飛行性能を競い合い、東海 No.1 チームを決定します。乱気流の影響を受ける環境の中で、いかに安定して遠くまで飛行させるかが勝敗のポイントとなります。年々進化する学生たちの設計力や制御技術にも注目が集まります。また、当日は川崎重工業株式会社特別チームによるエキシビション飛行も予定しています。

つきましては、ぜひ取材くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 日時: 2026 年 9 月 18 日(金) 12:30~17:00(12:00受付開始)

- ・第一部: 飛行ロボット競技会 12:30~15:25
- ・第二部: 飛行ロボット大反省会(表彰式を含む) 15:25~17:00

2. 場所: 山県市総合体育館 (岐阜県山県市高木 1675 番地)

3. 参加予定者:

【出場者】

- ・ 岐阜大学工学部学生 9名
- ・ 名古屋大学工学部学生 8名
- ・ 中日本航空専門学校航空ロボティクス科学生 5名
- ・ 岐阜工業高等専門学校専攻科学生 3名
- ・ 川崎重工業株式会社特別チーム(エキシビション)

【出席者】

- ・ 国立大学法人東海国立大学機構 機構長 松尾 清一
- ・ 岐阜大学 学長 吉田 和弘、副学長 王 志剛
- ・ 名古屋大学大学院工学研究科教授 原 進
- ・ 岐阜大学航空宇宙生産技術開発センター教授 伊藤 和晃 他

4. 東海クライマックスシリーズ2026 特設サイトページ

<https://ipteca.gifu-u.ac.jp/program/tokai-cs/>

5. 取材について

大会開催前日までの出場準備の様子を取材希望される場合、以下の問い合わせ先までご相談ください。



問い合わせ先

- ・名古屋大学大学院工学研究科(航空宇宙生産技術開発センター兼務)教授 原 進
Tel: 052-789-4416 E-mail: haras@nuae.nagoya-u.ac.jp
- ・岐阜大学 航空宇宙生産技術開発センター教授・人材育成部門長 伊藤 和晃
Tel: 058-293-2404 E-mail: ito.kazuaki.x5@f.gifu-u.ac.jp

※1 航空宇宙生産技術開発センター

本センターは東海国立大学機構が実施する連携拠点支援事業としての支援を得ながら、「地方大学・地域産業創生交付金」を活用して、岐阜県や岐阜大学、名古屋大学、地元産業界との産学官金連携により、大学生や就業者を対象とした航空宇宙産業の「生産技術」に関する人材育成と研究開発を実施する「航空宇宙生産技術人材育成・研究開発プロジェクト」を推進しています。

(参考 URL: <https://ipteca.gifu-u.ac.jp/>)

※2 航空宇宙設計・生産融合人材育成プログラム

岐阜大学と名古屋大学が連携して実施している、設計技術・生産技術・飛行実証技術を一貫して習得・実体験できる「設計技術型人材」と「生産技術型人材」を育成する、国内に前例のない人材育成プログラムです。(参考 URL: <https://ipteca.gifu-u.ac.jp/program/university/>)

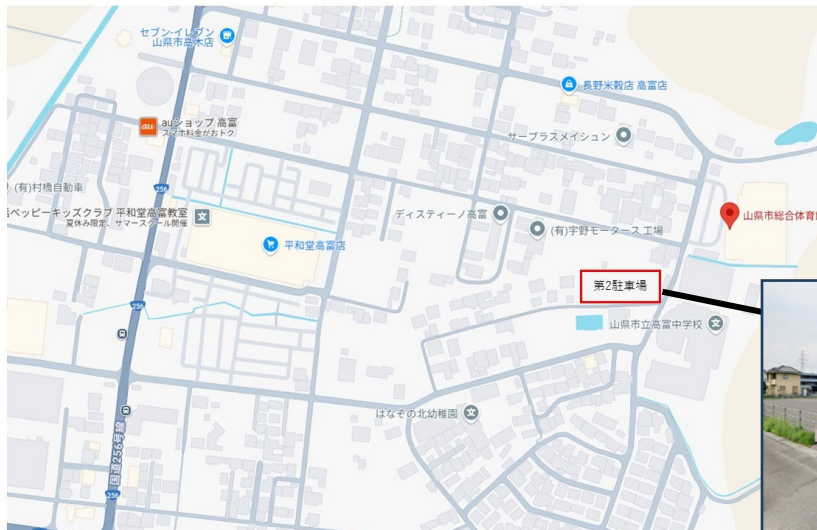
東海クライマックスシリーズ 2025 の様子



<開催場所>

山県市総合体育館 (〒501-2105 岐阜県山県市高木1675番地 TEL 0581-22-6622)

※上履き(スリッパや、靴底のきれいなシューズなど)をご持参ください。



お車でお越しの場合は、
第2駐車場に駐車願います

